

## 千里山会第16回総会の概況

千里山回第16回総会は、平成24年10月20日(土)、眼下に日比谷公会堂・日比谷公園が臨める日本プレスセンター内にあるレストラン・アラスカで行われました。このビルの玄関に立つと国会議事堂が目と鼻の先。正に日本の中心地です。

当日は出席者が60名と少し淋しかったです。前回の原宿 南国酒家と同じく、曇一つない晴天に恵まれ、暑くもなく寒くもない一日でした。

また、関西大学政策創造学部 3年生5名の方々が、千里山を舞台にしたドキュメントを製作中で、その一環として東京の千里山会を取材するため、夜行バスを利用し、撮影・インタビューを見えました。

## 総会次第

司会 事務局長 奥田陽一

開会宣言

同右

世話人代表挨拶

世話人代表 寺澤美代子

事務局報告

事務局長 奥田陽一

会計報告、総会決議事項(規約一部改正)

採決、遠来者・初参加者の紹介

次号会誌へのお願い

事務局 萩原直大

総会閉会宣言

事務局長 奥田陽一

世話人代表の挨拶

バックのスクリーンに千里山の現状が映し出される中、行われました。\* \* 頁に内容を示します。

会計・業務報告

事務局長 奥田陽一

千里山会の名の下に開催するのが今回で第16回ですが、会の名が決まる以前より数えると来年は第20回となります。さらに、その母体となる会まで加えると、40回以上続いていることとなります。

### 役員交代のお願い

事務局長 奥田陽一

寺澤代表、奥田事務局長、会計担当児玉さん、名簿管理の古川さんの新規後任を是非お願いしたい。

### 会誌へのお願い

事務局 萩原直大

寄稿文と企画もの（貴重な体験談や意外な出会い、経験された話の紹介）への参加、他アイデア募集。

### 遠来者紹介 \*初参加

事務局長 奥田陽一

浅野倉平（20）…千里山、和田忠博（20）…神戸、井出（藤川）敏（20）…大阪狭山、加藤孝（24）…仙台、田代為寛（32）…大分、増田泰邦（39）…宇都宮

### 初参加者紹介

事務局長 奥田陽一

及び久々の出席  
林睦恵（22）、和久（中川）淑子（23）…10年ぶり、大里衛（29）…海外勤務だったため10年ぶり、赤井恭平（32）…10年ぶり

### 懇親会 次第

司会 35回生 石井 庸三

開会 15回生 赤羽 隆夫

乾杯  
各テーブルでの歓談  
祝電披露（衆議院議員33回生 藤村 修氏）  
近況報告

各班での写真撮影 39回生 増田 泰邦

### 合唱隊

指揮 32回生 古川（藤本）道子  
ピアノ伴奏 31回生 杉山（石井）秀子  
千里第二小学校校歌・千里第三小学校校歌・大き古時計・吹田第一中学「一中賛歌」

菊花プレゼント…恒例、24回生 河井康郎氏提供

閉会（中締め） 20回生 久保 利也

今日の日よさようなら 全 員

### 乾杯及び挨拶

15回生 赤羽 隆夫

105歳のお母様は今もご健在で、ご夫婦で老老介護されているものの、記憶力もしっかりされていて、千里山時代を覚えておられるとのこと。

千里山は冬寒くなく、夏暑くもなく一生暮らしたかったとおっしゃっておられるとか。

千里山住民は暮らし向きが似かよっていたせいか、あまり気を使わなくて良かった ともおっしゃっていました。

今は夫婦で老老介護の余った時間は徒然なるままのパソコン人生、いずれました、日本経済に関する本を出したいとおっしゃっていました。

### （追記・萩原）

私の大学時代の友人（土木工学）がメールをくれました。『大きな古時計』をインターネットで追っていると、保富氏―千里山会に行きついた。そこに名簿があり、昔、お世話になった赤羽さんと市原さん（24回生）、お前（萩原）の名が出ていた。というもの。この男は卒業後、運輸省に勤め、色々の中央官庁に出

向。そこで赤羽（当時 大蔵省）さん・市原（当時 建設省）さんに世話になったとのことでした。世間は狭いというのか大きな古時計のお陰と言うのか・・・

大いに盛り上がった中締め 20回生 久保 利也

あつという間にお料理がなくなり、追加注文したほど。皆さんの食欲が大盛だったのか、事務局の不手際か。双方が原因と言うことにおいて下さい。

でも、いよいよ最後の中締めで、久保さんが大いに盛り上げて下さいました。

それは久保さんの掛け声に、全員がこぶしを挙げて大声で答えるもの。

久保「来年も元気で参加するか！」 全員「よっしゃ！」  
久保「誰か一人連れてくるか！」 全員「よっしゃ！」  
久保「一年でも長生きするぞ！」 全員「よっしゃ！」  
久保「家族を大切にするぞ！」 全員「よっしゃ！」

関西大学政策創造学部 3 回生・男女5名の学生さんが、各テーブルを回り、撮影・インタビューが続き、これもまた大いに雰囲気盛り上げてくれました。今年もまた受付、会場設営・準備に当たり次の方々を終始ご協力を賜りました。

18 回生 小木曾(名田)文子、23 回生 佐怒賀(片山)弘子、26 回生 奥田(渡部)英子・児玉(服部)絢子、31 回生 杉山(石井)秀子、32 回生 古川(藤本)道子、29 回生 芦田英雄、35 回生 石井庸三  
の皆様方、写真は、39 回生 増田泰邦さんにご協力願ひ、心より厚く御礼申し上げます。

毎回、毎回 菊をご寄付下さる河井康郎さん、その菊を河井邸に前日取りに行き、当日、会場へ運んでいただいている奥田事務局長さん、有難うございます。

#### 《下段の写真》

乾杯の音頭をとっていただいた赤羽 隆夫様です。



## 総会のご挨拶

世話人代表 寺澤 美代子

皆様 本日はようこそ二〇二二年度千里山会総会・懇親会にお集まり下さいまして有難うございました。

会員の方々には、一年振り、或いは数年振りの再会を楽しんでおられることと存じますが、まず私達は、今日お見えになれなかった方々に思いを致して、ここに集うことができた幸せをお互いに喜び、お互いの健康に感謝申したいと存じます。

今回は、ここアラスカに会場を移させて頂きました。皆様方もご存じかと思いますが、アラスカは昭和三年に大阪の北浜で開かれた小さな西洋レストランを基として発展した店で、当初は40坪のお店にわずか5卓だけのお店だったと伺っております。

台風も去って会場からは日比谷公園が美しく眺められますので、皆様方には午後のひと時、ゆっくりとお楽しみ頂けます。

たらと願っています。この会場の設営に当たって色々とお力添え下さった方々、何かとご配慮頂いたアラスカの佐藤マネジャーにこの場をお借りして御礼を申し上げます。今回の会場の席は、学年毎に集まる形ではなく、先輩方に特別席を設けております以外は、今までと違って自由な席としております。本日は、九回生から三十九回生の方々が集まっておりますので、自由に席も移動して下さい、お互いに親交を深めて頂きたいと願っております。

私は最近千里山を訪ねる機会に恵まれました。駅前のように工事中ですっかり様子の変わった所もありましたが、通りによつては昔の趣をそのまま残す所もございました。

時代と共に、会員の方々の千里山に対する関わりも変わって来ておられることと存じます。千里山に思い出だけをお持ちの方、ご兄弟やご姉妹がお住まいの方、お子様がお住まいの方、中には、お父様やお母様がお住まいになつておられる方もいらつしやいます。十八回生でも旧姓名田さんのお母様は百一歳、同じく同級生だった南部敦子さんのお母様の久子様も百一歳、共にご健在でいられます。このように千里山に

## 千里山会2012年総会・懇親会 出席者名簿

2012.10.20

レストランアラスカ 日本プレスセンター店

(回生別・五十音順・\*印初参加)

- 9回生 飯島泰蔵
- 11回生 河合(岡村)貞子、伏見千瑞子、三谷(平井)萬里子
- 14回生 柿崎眞吾、三分一克美、岡本(山崎)郁子
- 15回生 赤羽隆夫、高橋景一(奥様ご同伴)
- 16回生 清水健至
- 17回生 高橋一三、石田(神谷)明子、山本(吉田)恵子
- 18回生 片山 章、小木曾(名田)文子、栗木(池田)明子、滝沢(村中)万里子、  
寺澤(劉)美代子
- 20回生 浅野倉平\*、久保利也、長谷川宏有、和田忠博\*、井出(藤川) 敏\*、  
米崎(三輪)ふゆ子
- 21回生 高田 亘、平田 垣
- 22回生 尾川原奈美江、林(林)睦恵
- 23回生 黒川(大藤)幸子、佐怒賀(片山)弘子、和久(中川)淑子
- 24回生 奥田陽一、加藤 孝\*、河井康郎、河合(五十嵐)和子、齋藤(南條)万貴子
- 26回生 村岡 進、大貫(石原)康子、奥田(渡部)英子、川原(河井)一恵、児玉(服部)絢子、  
澤田(大貫)操子
- 27回生 井筒征彦、熊谷克彦、萩原直大、城戸(吉田)三千代、増田(柏倉)加子
- 29回生 大里衛、芦田英雄、小田栂司
- 31回生 杉山(石井)秀子
- 32回生 赤井恭平、田代為寛\*、山田 明、古川(藤本)道子
- 35回生 石井庸三、藤本淑子
- 39回生 澤田 純、増田泰邦\*

以上60名

\*: 遠来者

特別招待者: 関西大学政策創造学部 3回生 5名

対する関わり方が、それぞれに違っていても、年代にかかわらず、親しく一堂に会することができまことに、本場に素晴らしいことと有難く存じます。今日一日共に千里山を懐かしみ、共に楽しい時をお過ごし頂きますようお願いいたします。

最後になりましたが、この一年も大変な事務局の仕事にご尽力くださった奥田様、八月に出版された千里山会誌十五号の編集・出版に尽くして下さった萩原様に改めて心からのお礼を申し上げます。

なお、お願いがございますが、千里山会では世代交代が進みます中、若い方々の入会が望まれます。千里山の関係者で関東にお住まいの方々は、まだまだ居られると存じます。会員の皆様のご親戚やお知り合いの方で、まだ千里山会のことをご存知ない方がおられましたら、是非千里山会の活動についてご紹介下さり、関係者がおられましたら入会をお勧め頂きたいと存じます。

私達会員が、千里山会の活動を維持し、盛り上げて行けるように務めることが、千里山会を立ち上げて下さった諸先輩

のご尽力や熱意に応えることになると思っております。改めて皆様方のご協力をお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

## 【2012年度 千里山会収支表】

12年4月1日～13年03月31日

2013年03月29日

収入	金額	支出	金額
前年度繰越	813,978		
年会費 184名	368,000	通信費	78,642
内訳 11年 0名		振込手数料	630
12年 184名	368,000	文具・コピー費	19,279
13年 0名		打合経費	74,255
振込手数料(会費振込分)	-12,600	慶弔費他	10,850
その他(雑収入)	3,384	会誌15号作成費	185,693
利息	122	会員名簿作成費	69,300
小計	358,906	小計	438,649
懇親会費 59名 @8,000	472,000	会食費他	531,535
		写真費	
		合唱隊他諸経費	2,980
		記念品費	
		小計	534,515
寄付金 12名	95,000	繰越	766,720
合計	1,739,884	合計	1,739,884

参考 基金総額：617,000円 (1996年募集)

寄付累計：1,410,442円 (1996/4～2012/12 延174名、含切手寄付)

本日、千里山会の会計監査をした結果、処理は適正且つ正確であるものと認めます。

2013年7月15日

監事 平田 坦

## 経過報告

- 12.07.26 会誌15号校正 27 萩原 24 奥田
- 12.08.13 会誌発送用封筒準備・会誌15号完成、会員名簿と共に発送開始
- 12.09.08 総会準備委員会 於八重洲倶楽部  
16 清水 17 高橋 18 片山、小木曾、寺澤 20 久保 22 尾川原  
23 佐怒賀 24 奥田 26 児玉 27 萩原 35 石井 39 増田  
以上13名
- 12.10.15 レストランアラスカ 最終打合せ  
18 寺澤 24 奥田
- 12.10.20 2012年度 総会・懇親会 (詳細 会誌16号)
- 12.10.27 会計中間決算作成・チェック 21 平田坦 26 児玉絢子 24 奥田陽一
- 12.11.05 会誌15号を国立国会図書館に納本
- 12.11.11 常任幹事会 総会反省会 於八重洲ロルノアール  
16 清水、17 高橋、18 寺澤、小木曾、22 尾川原、24 河井、河合、  
奥田、26 児玉、27 萩原、29 芦田、35 石井、39 増田 以上13名
- 13.02.17 常任幹事会 千里山会の運営について 於八重洲ロルノアール  
16 清水、18 寺澤、小木曾、21 平田、22 尾川原、24 河井、河合、  
奥田、26 児玉、27 高見、萩原、32 古川、39 増田 以上13名
- 13.04.01 会計12年度決算書類作成・チェック 21 平田坦 26 児玉絢子  
24 奥田陽一
- 13.05.25 「千里山今昔展」 24 奥田
- 13.07.08 会誌16号編集打合せ 於学士会館 27 萩原 24 奥田
- 13.07.12 会誌発送用封筒印刷 500枚 24 奥田
- 13.07.16 日比谷アラスカ打合せ 18 寺澤 24 奥田
- 13.07.16 会誌16号編集打合せ 於学士会館 27 萩原 24 奥田
- 13.07.22 会誌16号編集打合せ、版下をよしみ工産へ  
於学士会館 27 萩原 24 奥田
- 13.07.29 会誌発送用封筒準備 24 奥田
- 13.07.30 会誌16号校正 27 萩原 24 奥田



全員 18 回生 池田 名田  
村中 片山 劉



11 岡村 平井 16 清水 14 柿崎  
11 伏見 9 飯島 14 三分一 山崎



全員 20 回生 浅野 藤川 和田  
久保 三輪 長谷川



17 高橋 17 石田 15 赤羽  
17 吉田 15 高橋 高橋様奥様



26 村岡 石原 河井 大貫  
26 服部 16 清水 26 渡部



23 大藤 26 村岡 21 平田 高田 23 片山  
23 中川 22 尾川原 林



27 萩原 29 小田 芦田 大里 27 熊谷  
27 井筒 柏倉 城戸



全員 24 回生 加藤 河井  
南條 奥田 五十嵐



35 石井 39 増田 32 山田 田代 赤井 39 澤田  
31 石井 32 藤本 35 藤本



「大きな古時計」の取材にわざわざ大阪から夜行バスで来られた  
関西大学社会学部の皆さん、若い人は元気です。